

戦後 81年平和事業

対馬丸記念館 出張講話

沖縄県那覇市にある対馬丸記念館から語り部をお招きし、昭和 19 年の対馬丸撃沈事件で犠牲となった子どもたちの悲劇を伝え、戦争の教訓と平和への想いをお話しいただきます。

犠牲者のひとりでもある対馬丸の船長は、旧豊科町の出身です。安曇野にゆかりのある人物が関わる出来事を通じ、平和の尊さについて改めて考えてみませんか。

日時:9月 20 日(日)13 時 30 分~15 時 50 分

場所:豊科公民館ホール 【入場無料・事前申込不要】

(長野県安曇野市豊科 4289 番地 1)

講 話 13:30~14:30

映画上映 14:40~15:50

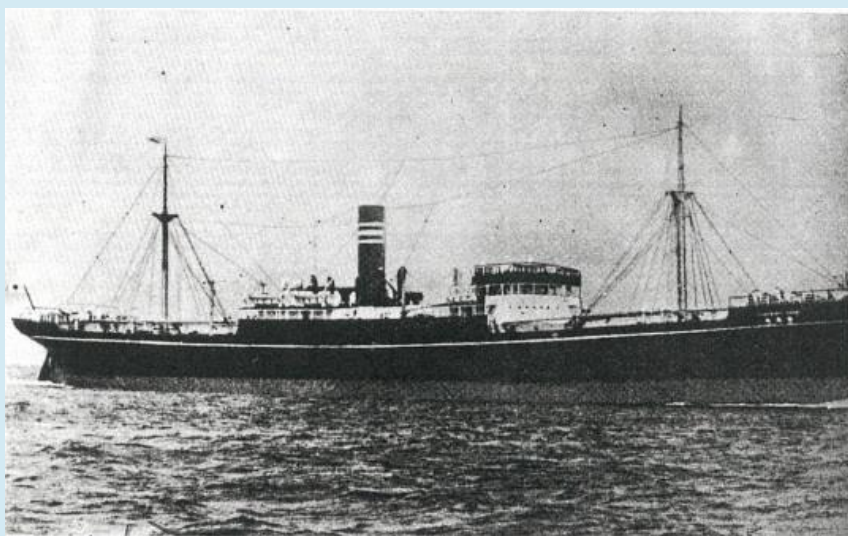
対馬丸撃沈事件とは・・・

太平洋戦争中の昭和 19 年 8 月 22 日、学童疎開船「対馬丸」は沖縄から長崎へ向かう途中に米潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃を受け、撃沈してしまいました。

対馬丸に乗船していた疎開学童、引率教員、一般疎開者、兵員ら 1,788 人のうち疎開学童 784 人を含む 1,484 人が犠牲となった、沖縄戦における学童疎開の最大の悲劇です。



【対馬丸記念館】対馬丸記念館は、対馬丸事件の犠牲者の鎮魂と子供たちに平和と命の尊さを教え後世に伝えるため対馬丸が撃沈された 60 年目の 2004 年に建設されました。



【対馬丸】日本郵船歴史博物館所蔵

主催:対馬丸を偲ぶ実行委員会
共催:長野県安曇野市

問合せ:安曇野市役所総務課 TEL0263-72-2408